



平成 29 年 10 月 30 日

各 位

上場会社名 和弘食品株式会社
代表者 代表取締役社長 和山 明弘
(コード番号 2813)
問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 市川 敏裕
(TEL 0134-62-0505)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 5 月 12 日に公表しました平成 30 年 3 月期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の第 2 四半期（累計）の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成 30 年 3 月期 第 2 四半期（累計）連結業績予想の修正（平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	4,127	55	44	6	7.33
今回修正予想（B）	4,370	48	42	8	10.15
増減額（B - A）	243	6	1	2	
増 減 率（％）	5.9	12.5	2.9	-	
（ご参考）前期第 2 四半期実績 （平成 29 年 3 月期第 2 四半期）	3,862	31	41	80	97.81

（注）当社は、平成 29 年 10 月 1 日付で普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を行っております。上記に記載の「1 株当たり四半期純利益」は前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

2. 修正の理由

売上高につきましては、注力しております大手コンビニチェーン、大手外食チェーン等ヘルメンスープ、タレ調味料、シーズニングオイルなどの業務用製品の販売が前期から引続き好調に推移し、前年同四半期比 13.1%の増加となりました。

利益面につきましては、3 期連続で前期比 10%超の売上伸長を支えるべく、盤石な安定供給を実現するための生産体制構築を目指し、人材採用・生産設備導入を積極的に進めた結果、原価率が業績予想値を若干上回り、営業利益、経常利益、当期純利益が予想を下回る見込みとなりましたが、前年同四半期との比較につきましては、売上総利益以下の各段階利益は大幅に改善しております。

また、通期の業績予想数値につきましては、現時点では未確定要素が多く予想が困難であること、当第 2 四半期実績と業績予想値との差異が僅少であることから、平成 29 年 5 月 12 日に公表した業績予想数値は変更しておりません。ただし、今後の経営環境を踏まえ、業績予想の修正が必要である場合には、適時に開示してまいります。

（注）上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

以 上